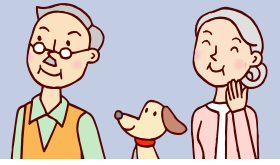


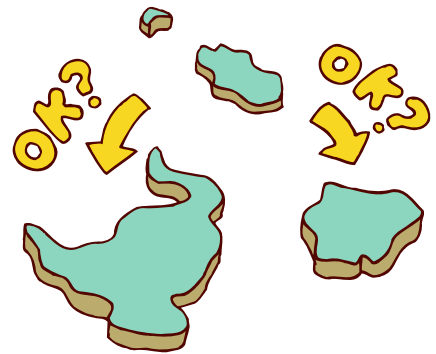
合併の是非を議論するためのポイントについて



この報告書は、「はじめに合併ありき」に基づいて作成したものではありません。今後、新宮町の将来について住民の皆様と行政が議論を深めるための資料として活用していきたいと考えています。

合併の是非を判断する場合の指標として、以下の9項目が考えられます。

- 1 合併市町双方の財政状況が健全であること
- 2 住民サービスが向上すること
- 3 住民負担が増加しないこと
- 4 合併後の人口・行政区域が適正規模であること
- 5 都市発展のための基本的な考え方が似ていること
- 6 住民の行政参加への道が開かれていること
- 7 住民の生活が混乱しないこと
- 8 行政効率が向上すること
- 9 広域行政（消防・ごみ処理等）の連携がとれていること



また、「合併をしない」という判断をする場合のポイントとして、以下の6項目が考えられます。

- 1 行政改革や財政健全化が達成されている
- 2 地方分権に備えた行政組織、機能を備えている
- 3 住民の自治意識が高く、住民協働のシステムが確立されている
- 4 住民が合併を望んでいない
- 5 周辺自治体、福岡県と十分な連携がとれている
- 6 行政課題が整理され、その解決方針がはっきりと決まっている



新宮町では、ここで取り上げたチェック項目について、合併するしないにかかわらず対応できることはすぐ対応していきたいと考えています。

新宮町が地方分権型社会に対応できているかどうか評価し、その上で合併問題を議論する主役は住民の皆様です。